

## 平成21年10月期 第1四半期決算短信

平成21年3月13日

上場会社名 小林産業株式会社  
 コード番号 8077 URL <http://www.kobayashi-metals.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井口 和郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 松井 直樹  
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月16日

上場取引所 大

TEL 06-6535-3690

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第1四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第1四半期	4,966	—	226	—	90	—	13	—
20年10月期第1四半期	6,083	△1.5	209	△30.6	120	△72.0	△84	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第1四半期	0.48	—
20年10月期第1四半期	△3.04	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年10月期第1四半期	19,637	—	8,086	—	40.9	—	288.06	—
20年10月期	20,798	—	8,045	—	38.4	—	286.53	—

(参考) 自己資本 21年10月期第1四半期 8,030百万円 20年10月期 7,988百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	3.50	—	3.50	7.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,300	△37.3	230	△57.9	180	△59.4	160	△16.2	6.70
通期	18,400	△28.5	360	△70.7	360	△66.8	270	△29.1	9.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第1四半期 28,007,448株 20年10月期 28,007,448株  
 ② 期末自己株式数 21年10月期第1四半期 129,656株 20年10月期 128,782株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年10月期第1四半期 27,878,442株 20年10月期第1四半期 27,880,254株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。  
 ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成20年11月1日～平成21年1月31日）におけるわが国経済は、世界的規模に拡大した金融危機による円高、株安、雇用不安等から景気の後退が一層進みました。

このような経営環境において当企業集団は、前連結会計年度に引き続き、迅速な価格転嫁の徹底と、商品在庫の見直し等の調整を図り、収益率向上に努めました。

当企業集団の中核部門である鋳螺部門においては、営業強化を図るため、平成20年11月1日に鋳螺部を改め、大阪支店としてスタートしており、事業拡大を目指しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,966百万円、営業利益は226百万円、経常利益は90百万円となりました。主な要因は営業外費用のデリバティブ評価損109百万円の計上によるものであります。当四半期純利益は、特別損失の投資有価証券評価損48百万円の計上および法人税等調整額34百万円の計上により13百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の変動状況について

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,301百万円減少し11,730百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が391百万円減少および受取手形及び売掛金が916百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて142百万円増加し7,908百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が150百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,219百万円減少し8,969百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が767百万円減少、短期借入金が100百万円減少および未払法人税等が264百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し2,583百万円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金が120百万円減少、長期未払金が57百万円増加および繰延税金負債が89百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて40百万円増加し8,086百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が84百万円減少およびその他有価証券評価差額金が119百万円増加したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況について

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る支出177百万円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る支出9百万円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出197百万円となったこと等により、前連結会計年度末と比べ391百万円減少し、1,964百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、177百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少額906百万円に対し、仕入債務の減少額765百万円、賞与引当金の減少額99百万円および法人税等の支払額260百万円の支出によるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、9百万円となりました。主な要因は、ゴルフ会員権の売却による収入2百万円に対し、有形固定資産の取得による支出12百万円によるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、197百万円となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出100百万円および配当金の支払額97百万円の支出によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国に端を発した金融危機による世界経済の悪化や円高を背景として、国内経済も急激に悪化しております。また、当社の取引先の在庫調整等によって著しく商品の需要が減退しており、今後においても更に厳しい経営環境が続くものと思われまます。

以上の状況により当社は、平成21年10月期の業績予想を修正（平成21年2月27日公表）いたしました。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②たな卸資産については、当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関し実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、従来の方によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益がそれぞれ9百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益が9百万円減少しております。

## (4) 追加情報

当社は、従来、役員退職慰労金の支払いに充てるため、内規に基づく連結会計年度末要支給額を計上しておりましたが、平成21年1月29日開催の定時株主総会において、役員退職慰労引当金制度を廃止し、廃止時の要支給額を取締役および監査役の退任時に支給することといたしました。なお、当第1四半期連結会計期間末における役員退職慰労引当金相当額57,610千円を長期未払金に振り替えております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,964,616	2,356,201
受取手形及び売掛金	7,333,838	8,250,220
商品	2,186,918	2,126,569
その他	275,240	333,281
貸倒引当金	△30,033	△33,962
流動資産合計	11,730,579	13,032,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,028,122	1,035,447
機械装置及び運搬具(純額)	12,468	13,123
土地	3,610,716	3,610,716
その他(純額)	27,574	25,085
有形固定資産合計	4,678,881	4,684,373
無形固定資産	32,417	33,899
投資その他の資産		
投資有価証券	3,112,044	2,961,248
破産更生債権等	119,867	114,540
その他	164,637	166,392
貸倒引当金	△199,782	△194,455
投資その他の資産合計	3,196,766	3,047,725
固定資産合計	7,908,066	7,765,999
資産合計	19,638,645	20,798,310
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,740,994	6,508,902
短期借入金	2,600,000	2,700,000
賞与引当金	71,629	171,136
その他	556,644	808,963
流動負債合計	8,969,268	10,189,002
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,500,000
繰延税金負債	757,579	667,952
退職給付引当金	244,766	249,677
役員退職慰労引当金	—	120,630
長期未払金	57,610	—
その他	23,381	25,462
固定負債合計	2,583,338	2,563,722
負債合計	11,552,606	12,752,724

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,712,335	2,712,335
資本剰余金	1,728,146	1,728,146
利益剰余金	2,676,759	2,761,083
自己株式	△24,283	△24,113
株主資本合計	7,092,958	7,177,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	963,597	844,187
繰延ヘッジ損益	△8,862	△22,285
為替換算調整勘定	△17,107	△11,180
評価・換算差額等合計	937,626	810,721
少数株主持分	55,454	57,411
純資産合計	8,086,039	8,045,585
負債純資産合計	19,638,645	20,798,310

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)
売上高	4,966,140
売上原価	3,818,117
売上総利益	1,148,023
販売費及び一般管理費	921,750
営業利益	226,272
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	3,936
受取賃貸料	11,438
助成金収入	8,001
その他	2,312
営業外収益合計	25,714
営業外費用	
支払利息	17,608
デリバティブ評価損	109,151
その他	34,972
営業外費用合計	161,732
経常利益	90,254
特別利益	
ゴルフ会員権売却益	1,620
役員退職慰労引当金戻入額	10,830
特別利益合計	12,450
特別損失	
投資有価証券評価損	48,840
特別損失合計	48,840
税金等調整前四半期純利益	53,864
法人税、住民税及び事業税	2,921
法人税等調整額	34,305
法人税等合計	37,226
少数株主利益	3,386
四半期純利益	13,251

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益		53,864
減価償却費		19,941
退職給付引当金の増減額 (△は減少)		△4,910
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)		△63,020
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		1,398
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)		△23,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)		△99,507
受取利息及び受取配当金		△3,962
支払利息		17,608
持分法による投資損益 (△は益)		△44
投資有価証券評価損益 (△は益)		48,840
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)		△1,620
売上債権の増減額 (△は増加)		906,505
たな卸資産の増減額 (△は増加)		△60,348
その他の流動資産の増減額 (△は増加)		16,693
仕入債務の増減額 (△は減少)		△765,095
デリバティブ評価損益 (△は益)		109,151
その他の流動負債の増減額 (△は減少)		△62,007
負ののれん償却額		△2,080
小計		88,408
利息及び配当金の受取額		3,939
利息の支払額		△9,607
法人税等の支払額		△260,278
営業活動によるキャッシュ・フロー		△177,537
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出		△314
有形固定資産の取得による支出		△12,904
ゴルフ会員権の売却による収入		2,300
投資その他の資産の増減額 (△は増加)		1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		△9,918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出		△100,000
自己株式の取得による支出		△170
配当金の支払額		△97,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		△197,745
現金及び現金同等物に係る換算差額		△6,384
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△391,585
現金及び現金同等物の期首残高		2,356,201
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,964,616

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

②所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載していません。

③海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は記載していません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日)

科 目	前年同四半期 (平成20年10月期第1四半期)	
	金額 (千円)	構成比 (%)
I 売上高	6,083,360	100.0
II 売上原価	4,854,262	79.8
売上総利益	1,229,097	20.2
III 販売費及び一般管理費	1,019,582	16.8
営業利益	209,514	3.4
IV 営業外収益		
1. 受取利息	80	
2. 受取配当金	4,607	
3. その他	29,663	
営業外収益合計	34,351	0.6
V 営業外費用		
1. 支払利息	16,281	
2. その他	106,887	
営業外費用合計	123,169	2.0
経常利益	120,696	2.0
VI 特別利益	14,134	0.2
VII 特別損失	179,503	2.9
税金等調整前四半期純損失	△ 44,672	△ 0.7
税金費用	35,938	0.6
少数株主利益	4,106	0.1
四半期純損失	△ 84,717	△ 1.4

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日)

	前年同四半期 (平成20年10月期第1四半期)
区分	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失	△44,672
減価償却費	21,075
引当金の増加額	44,326
受取利息及び受取配当金	△4,531
支払利息	16,125
売上債権の増加額	△94,985
たな卸資産の増加額	△187,317
仕入債務の増加額	556,762
通貨スワップ等評価損	97,339
その他	51,947
小計	456,070
利息及び配当金の受取額	4,508
利息の支払額	△13,906
法人税等の支払額	△127,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,852
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△20,000
投資有価証券の売却による収入	17,344
投資有価証券の取得による支出	△13,388
その他	15,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△50,000
配当金の支払額	△97,584
その他	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,060
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	170,326
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,898,728
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	2,069,054